

「文化財の保存と活用」アンケート調査の結果について

1 目的

藤沢市における文化財に関する現状把握、及び課題抽出を行い、藤沢市文化財保存活用地域計画に活用する。

2 概要

(1) 期間 2024年9月2日(月)～10月27日(日)

(2) 調査の手法

ア Microsoft Forms を利用したオンライン回答

イ 紙媒体での回答

(3) 内容及び回答数

ア 一般向け

(ア) 対象者 藤沢市内の文化財に興味・関心のある方

(イ) 有効回答数 916件

イ 文化財所有者・管理者向け

(ア) 対象者 文化財所有者・管理者 55件

(イ) 有効回答数 46件 (回答率 約83%)

アンケート調査の結果(一般)

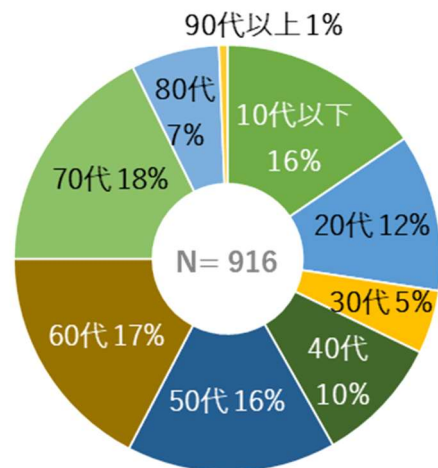
※注意

結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(1) 回答者の属性

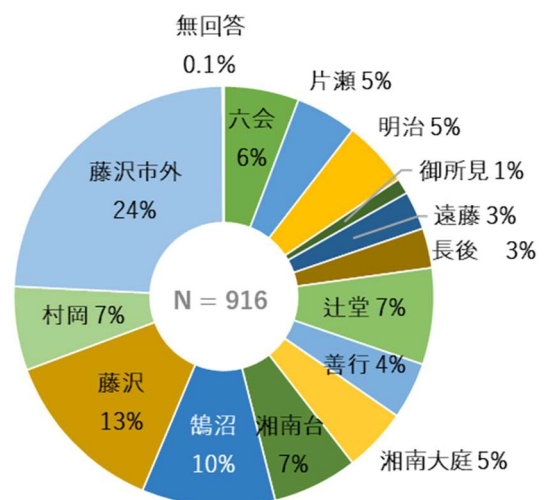
問1 年代をお答えください。

属性	人数	割合
10代以下	142	16%
20代	109	12%
30代	44	5%
40代	88	10%
50代	145	16%
60代	159	17%
70代	162	18%
80代	61	7%
90代以上	6	1%
総数	916	



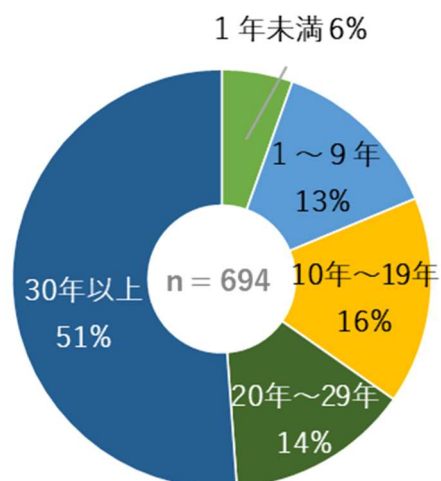
問2 お住まいの地区をお答えください。

属性	人数	割合
六会	53	6%
片瀬	43	5%
明治	47	5%
御所見	11	1%
遠藤	27	3%
長後	28	3%
辻堂	68	7%
善行	40	4%
湘南大庭	45	5%
湘南台	60	7%
鶴沼	94	10%
藤沢	119	13%
村岡	59	6%
藤沢市外	221	24%
無回答	1	0.1%
総数	916	



問3 (藤沢市内にお住まいの方におたずねします)
お住まいの年数をお答えください。

属性	人数	割合
1年未満	38	5%
1～9年	92	13%
10年～19年	111	16%
20年～29年	98	14%
30年以上	355	51%
総数	694	



問1～問3の分析

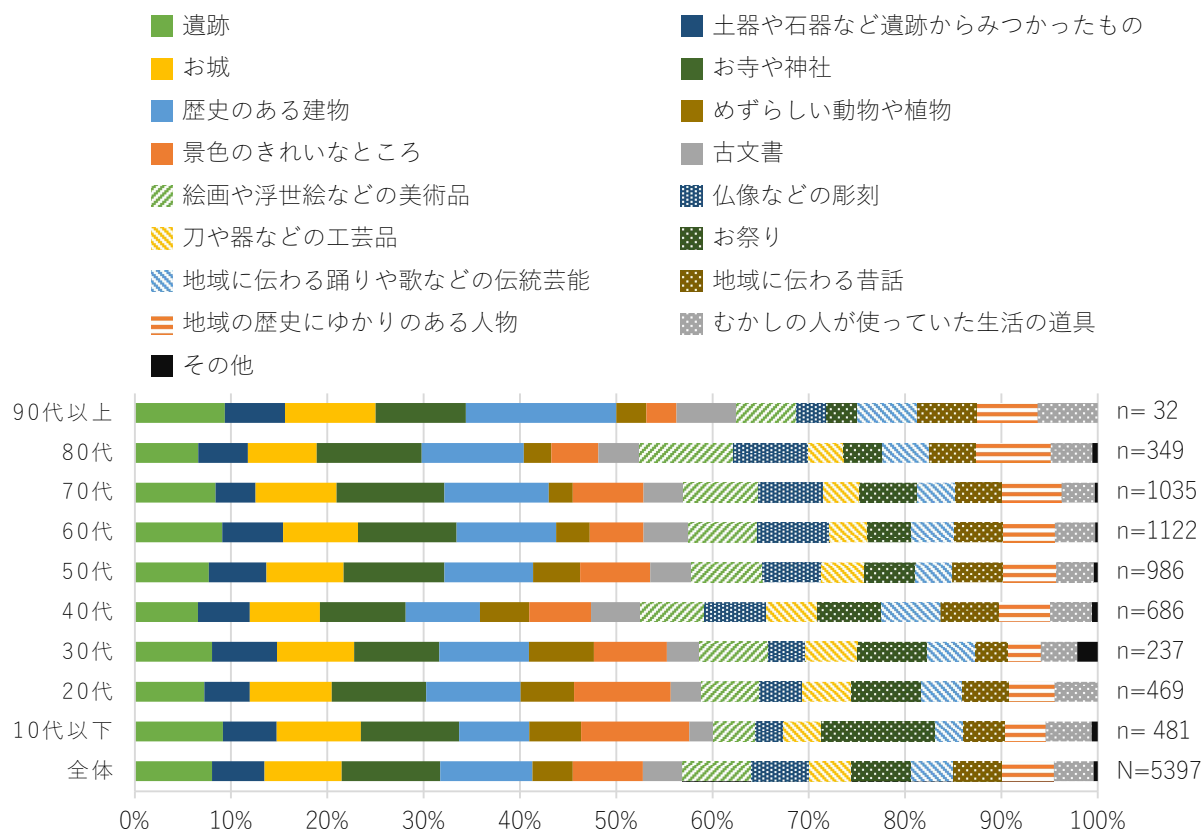
年齢別の割合は、70歳代が約18%と最も多く、次いで60歳代が約17%、50代及び10代以下が約16%と僅差が続いている。

地区別では藤沢市内の回答数が76%となった。また、藤沢市内にお住まいの方のうち、居住年数をみると30年以上の方が最も多く、半数を占めている。

(2) 文化財に対する興味

問4 どのような文化財に興味がありますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
遺跡	433	8%
土器や石器など遺跡からみつかったもの	295	5%
お城	432	8%
お寺や神社	552	10%
歴史のある建物	517	10%
めずらしい動物や植物	227	4%
景色のきれいなところ	392	7%
古文書	224	4%
絵画や浮世絵などの美術品	382	7%
仏像などの彫刻	329	6%
刀や器などの工芸品	233	4%
お祭り	335	6%
地域に伝わる踊りや歌などの伝統芸能	235	4%
地域に伝わる昔話	274	5%
地域の歴史にゆかりのある人物	292	5%
むかしの人が使っていた生活の道具	221	4%
その他	24	0.4%
総数	5,397	



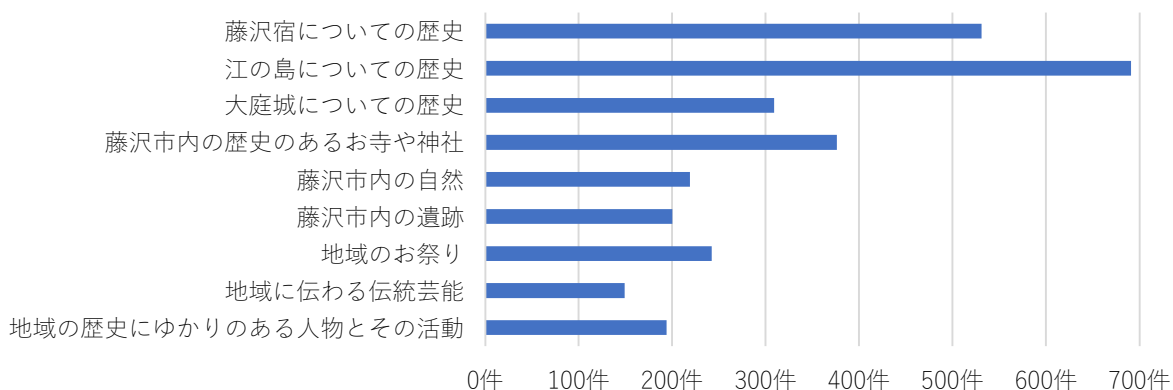
問 4 の分析

年代回答とのクロス集計を行った。全体では、「お寺や神社」や「歴史のある建物」が多い結果となった。年代別に見ると、年代が上がるにつれ「仏像などの彫刻」は多く、下がるにつれ「景色の綺麗なところ」が少なくなる傾向にある。また、「お祭り」については、10代以下の回答が突出して多い結果となった。

「その他」としては、「地質」、「道標」のほか、「食文化」、「その土地特有の野菜品種」と食に関連するものや、「古写真、マイクロフィルム」、「レコード、録音テープ」といった歴史資料といえるものが挙げられた。また、文化財保護法上の文化財にとどまらず「子どもが楽しいところ」、「からだの使い方」、「ほめことば、説教節」といった多岐にわたる回答も見られた。そのほか、10代以下では「わからない」や「興味がない」といった回答が一定数見られた。

問 5 「藤沢らしい」と感じる歴史や文化財は何ですか。(複数回答可)

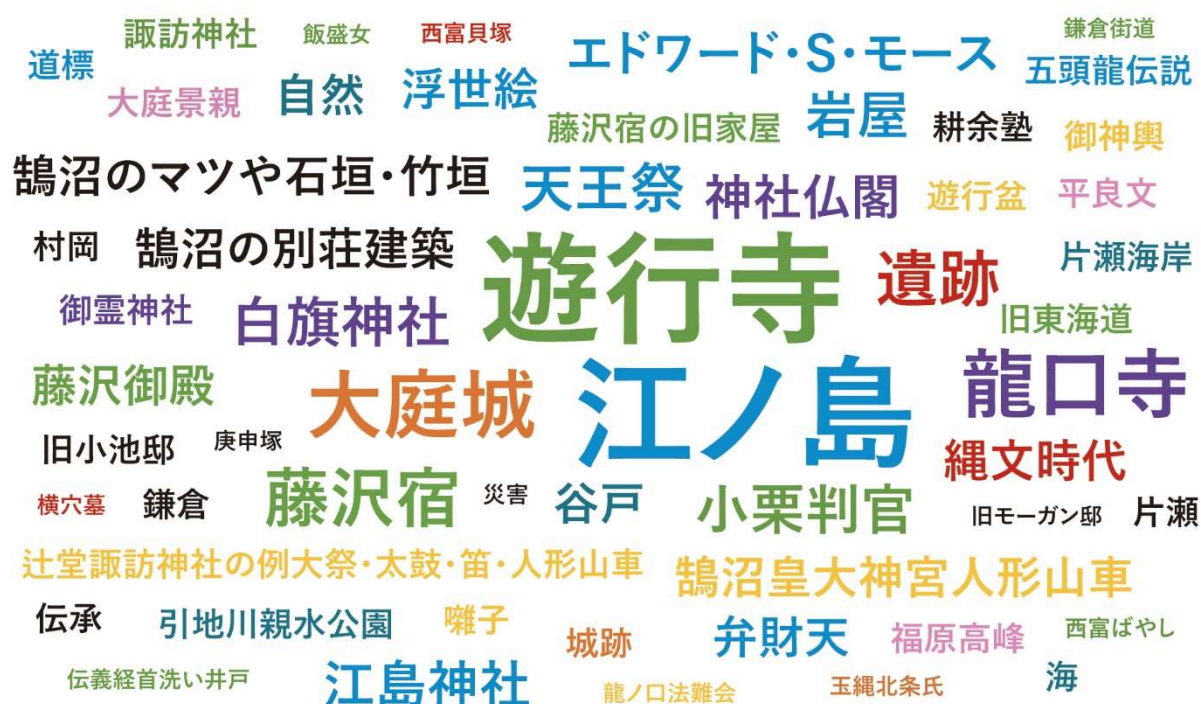
属性	回答数	割合
藤沢宿についての歴史	531	18%
江の島についての歴史	691	24%
大庭城についての歴史	309	11%
藤沢市内の歴史のあるお寺や神社	376	13%
藤沢市内の自然	219	8%
藤沢市内の遺跡	200	7%
地域のお祭り	242	8%
地域に伝わる伝統芸能	149	5%
地域の歴史にゆかりのある人物とその活動	194	7%
総数	2,911	



問6 問5で回答したものについて、具体例もあればお答えください。(任意回答)

ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

■藤沢宿 ■江の島 ■大庭城 ■お寺や神社 ■自然 ■遺跡 ■お祭り ■伝統芸能 ■人物



問5問6の分析

問5の「藤沢らしい」と感じる歴史や文化財は、「江の島についての歴史」が最も多く、次いで「藤沢宿についての歴史」、「藤沢市内の歴史のあるお寺や神社」、「大庭城についての歴史」の順となった。

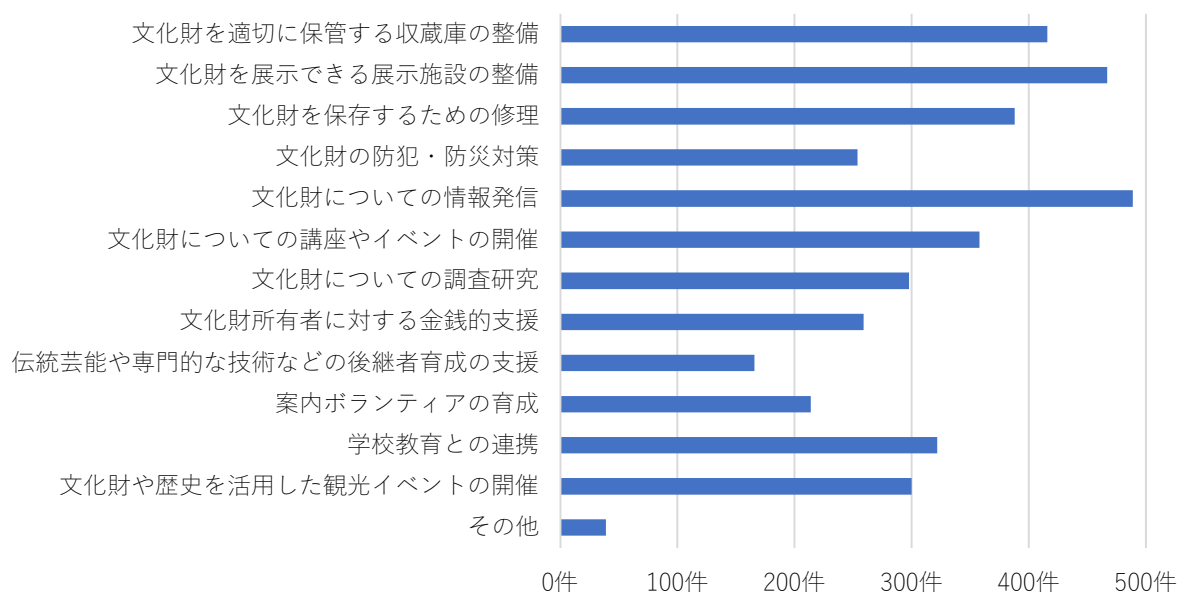
問6はユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析を行った。回答中の単語の一部を出現頻度に応じた大きさを図示し、問5の項目に関連するものはそれぞれ色付としている。

上位4項目に関連するものは多く、特に「遊行寺」、「江ノ島」がキーワードとして挙がっていることがわかる。「江ノ島」には、「江ノ島詣」、「江ノ島道」、「江ノ島植物園内遺跡」、「江ノ島囃子」など多岐にわたる要素が含まれている。また、地域のお寺や神社で行われるお祭りや行事に関連する意見のほか、自然に関連するものや建造物も多く挙げられた。

(3) 保存・継承の取組について

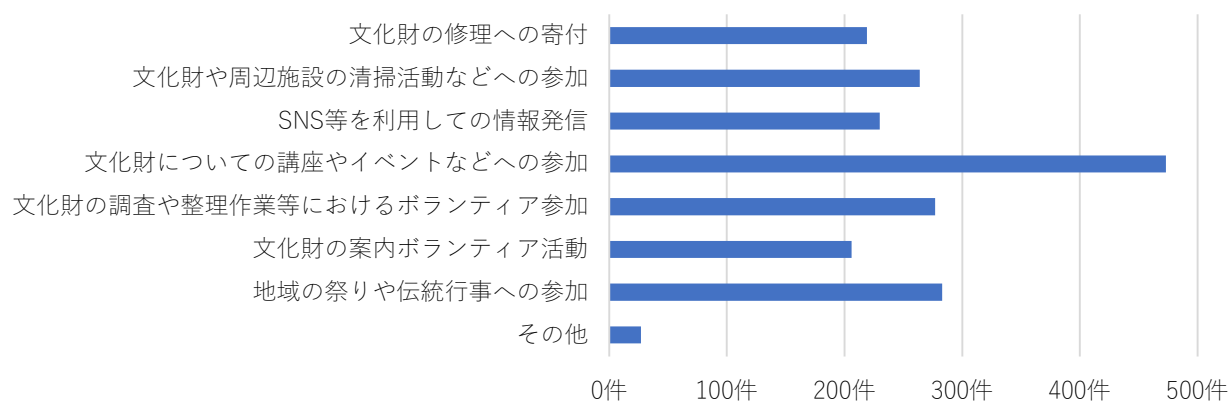
問7 地域の文化財を守り、未来へ伝えていくために、藤沢市はどのような取組をするべきだと思いますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
文化財を適切に保管する収蔵庫の整備	416	17%
文化財を展示できる展示施設の整備	467	19%
文化財を保存するための修理	388	16%
文化財の防犯・防災対策	254	10%
文化財についての情報発信	489	20%
文化財についての講座やイベントの開催	358	15%
文化財についての調査研究	298	12%
文化財所有者に対する金銭的支援	259	11%
伝統芸能や専門的な技術などの後継者育成の支援	166	7%
案内ボランティアの育成	214	9%
学校教育との連携	322	13%
文化財や歴史を活用した観光イベントの開催	300	12%
その他	39	2%
総数	2,445	



問8 地域の文化財を守り、未来へ伝えていくために、あなたが協力できそうなことは何ですか。
(複数回答可)

属性	回答数	割合
文化財の修理への寄付	219	11%
文化財や周辺施設の清掃活動などへの参加	264	13%
SNS等を利用したの情報発信	230	12%
文化財についての講座やイベントなどへの参加	473	24%
文化財の調査や整理作業等におけるボランティア参加	277	14%
文化財の案内ボランティア活動	206	10%
地域の祭りや伝統行事への参加	283	14%
その他	27	1%
総数	1,979	



問7問8の分析

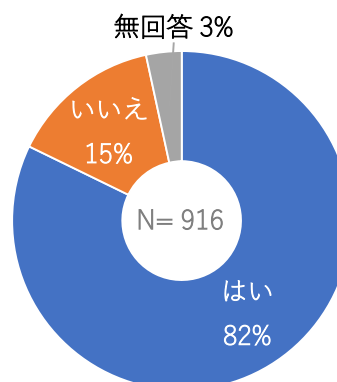
地域の文化財を守り、伝えていくための取組については、問7の結果を見ると「文化財についての情報発信」が最も多く、次いで「文化財を展示できる展示施設の整備」、「文化財を適切に保管する収蔵庫の整備」の順となっている。「その他」では庁内における関係課及び国、県、他市町村、また民間との連携について多く挙げられた。

問8は、「文化財についての講座やイベントなどへの参加」が最も多く、そのほかの項目は「地域の祭りや伝統行事への参加」、「文化財の調査や整理作業等におけるボランティア参加」と続く大きな差がない結果となった。「その他」では、「お寺や神社、博物館などに訪れる、入場料などを支払う」や「協力できそうなことがない」などが挙げられた。

(4) 文化財の普及・啓発について

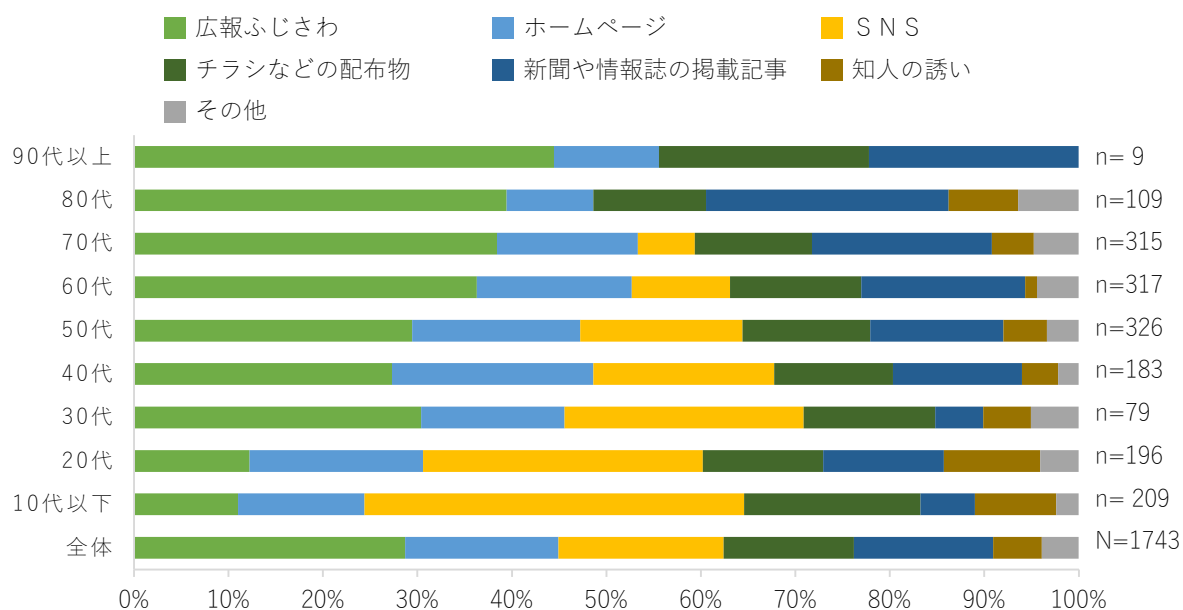
問 9 藤沢市に「文化財等を展示する施設」が必要だと思いますか。

属性	人数	割合
はい	753	82%
いいえ	132	14%
無回答	31	3%
総数	916	



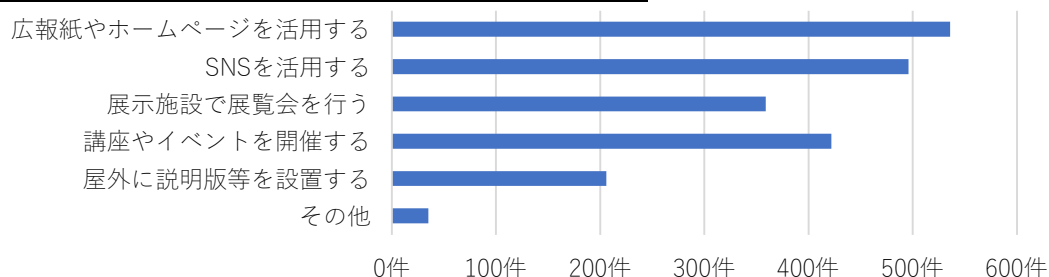
問 10 文化財や歴史についての情報はどこで得ますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
広報ふじさわ	500	29%
ホームページ	283	16%
S N S	305	17%
チラシなどの配布物	240	14%
新聞や情報誌の掲載記事	257	15%
知人の誘い	90	5%
その他	68	4%
総数	1,743	



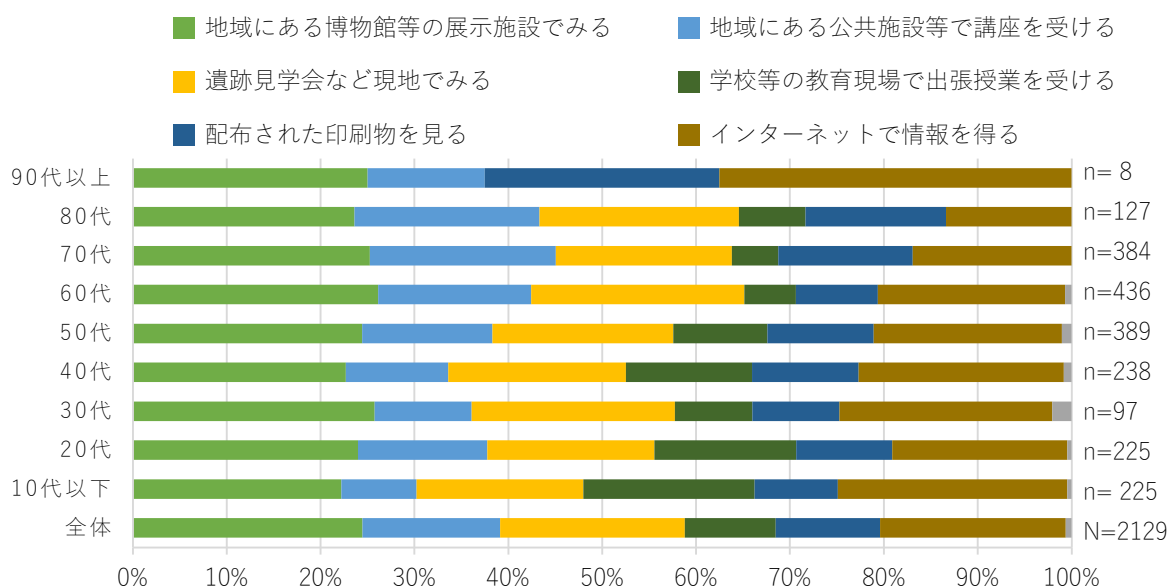
問 11 文化財や歴史について、より多くの人にお知らせするために、どのような取り組みを
と効果的だと思いますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
広報紙やホームページを活用する	536	26%
SNS を活用する	496	24%
展示施設で展覧会を行う	359	17%
講座やイベントを開催する	422	21%
屋外に説明版等を設置する	206	10%
その他	35	2%
総数	2,054	



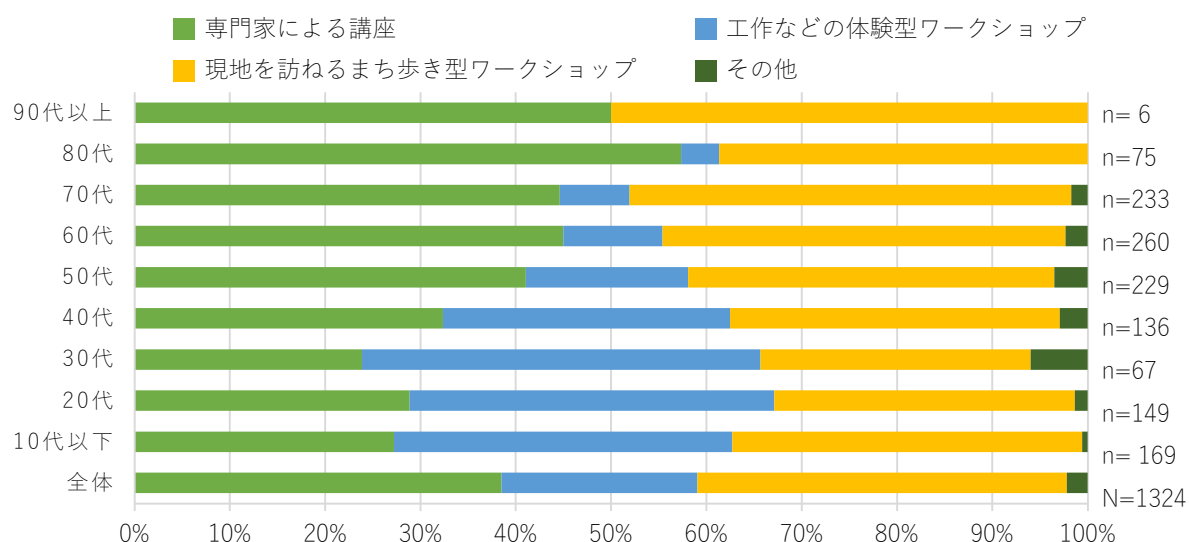
問 12 文化財や歴史についてどのような方法で知りたいですか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
地域にある博物館等の展示施設でみる	521	24%
地域にある公共施設等で講座を受ける	312	15%
遺跡見学会など現地でみる	419	20%
学校等の教育現場で出張授業を受ける	206	10%
配布された印刷物を見る	237	11%
インターネットで情報を得る	421	20%
その他	13	1%
総数	2,129	



問 13 どのようなイベントに参加したいですか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
専門家による講座	510	39%
工作などの体験型ワークショップ	272	21%
現地を訪ねるまち歩き型ワークショップ	513	39%
その他	29	2%
総数	1,324	



問 9 ～問 13 の分析

文化財の普及・啓発に係る質問においては、まず問 9、問 11、問 12 の回答結果から展示施設の必要性が大きいことがわかる。

次に情報発信について、問 10、問 12 を年代回答とのクロス集計で見ると、年代が上がるにつれ「広報ふじさわ」や「新聞紙や情報誌の掲載記事」が多く、年代が下がるにつれ「SNS」が多くなっており、年代による日常で触れる情報媒体の違いが表れている。

問 11 で「広報紙やホームページを活用する」と「SNSを活用する」が上位となっていることから情報発信では上記 2 項目の方法が効果的と言える。

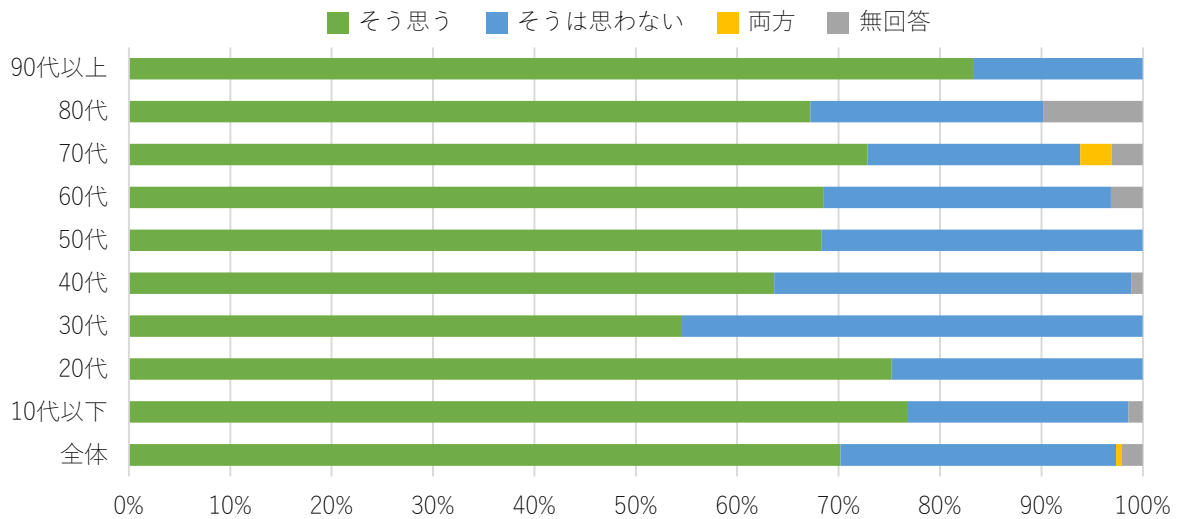
また、問 12 では講座や授業についても年代によって回答が異なる傾向があり、「学校等の教育現場で出張授業を受ける」は 10 代以下、20 代の回答が多く、反対に「地域にある公共施設等で講座を受ける」に高齢者世代の回答が集まっている。

問 13 の参加したいイベントに関しては、年代が上がるにつれて「工作などの体験型ワークショップ」が少なく、「専門家による講座」や「まち歩き型ワークショップ」が多い結果となった。

(5) 藤沢市の文化財や歴史に対するイメージ

問 14 藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思いますか。

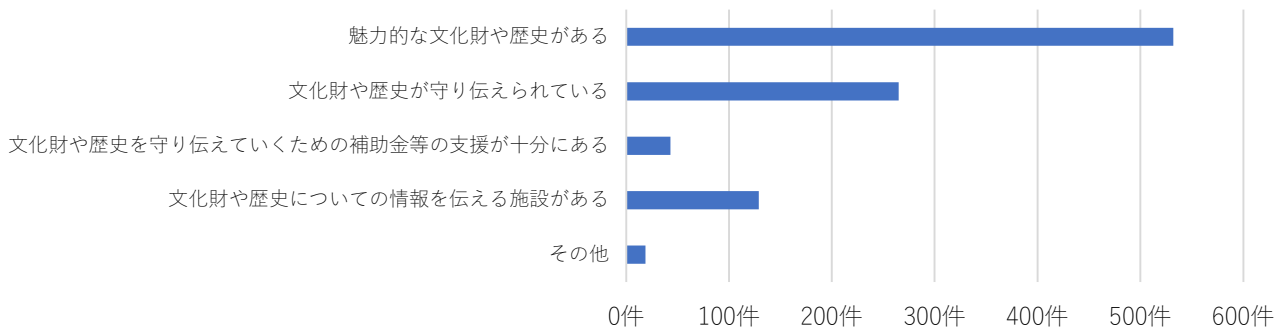
属性	回答数	割合
そう思う	643	70%
そうは思わない	249	27%
両方	5	1%
無回答	19	2%
総数	916	



問 15 ※問 9 で「そう思うと答えた方」

藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思う理由をお答えください。(複数回答可)

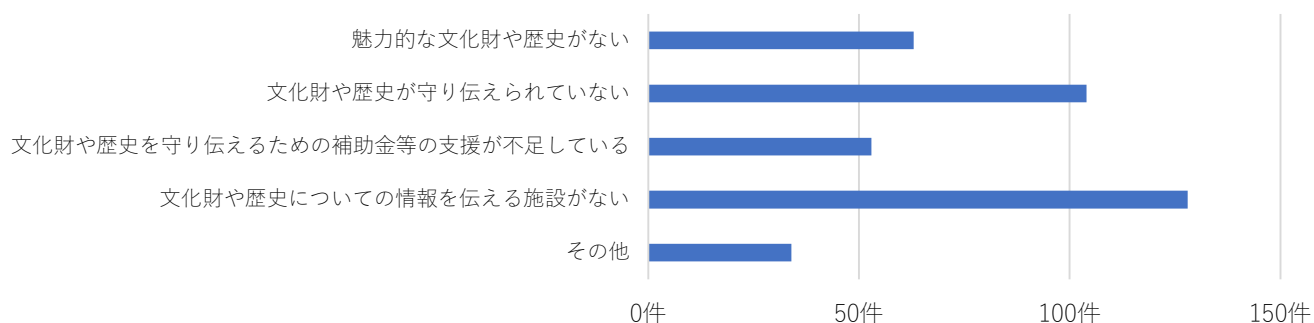
属性	回答数	割合
魅力的な文化財や歴史がある	532	54%
文化財や歴史が守り伝えられている	265	27%
文化財や歴史を守り伝えていくための補助金等の支援が十分にある	43	4%
文化財や歴史についての情報を伝える施設がある	129	13%
その他	19	2%
総数	988	



問 16 ※問 9 で「そうは思わないと答えた方」

藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思わない理由をお答えください。(複数回答可)

属性	回答数	割合
魅力的な文化財や歴史がない	63	16%
文化財や歴史が守り伝えられていない	104	27%
文化財や歴史を守り伝えるための補助金等の支援が不足している	53	14%
文化財や歴史についての情報を伝える施設がない	128	34%
その他	34	9%
総数	382	



問 14 ～問 16 の分析

問 14 では、全体として「そう思う」が 70%、「そうは思わない」が 27%という結果となっており、年代回答とのクロス集計では 30 代、40 代を中心に「そうは思わない」が特に多くなっている。また、そう思う理由としては「魅力的な文化財や歴史がある」、そうは思わない理由としては「文化財や歴史についての情報を伝える施設がない」が最も多い結果となった。

そうは思わない理由では「その他」も比較的多くの回答を集めており、「あまり知らないから」のほか、隣の鎌倉市に焦点が当たってしまうといった回答が多く見られた。反対に、そう思う理由として鎌倉市に近いという点を強みと認識している回答も見られた。

(6) 文化財の保存と活用についての意見(自由記載)

※ 重複意見をまとめ一部抜粋

保存について

- ・魅力的な文化財を後世に伝えるための保存施設を整備するべきである。
- ・予算との兼ね合いがありますが、将来に向けても保存、維持は必要なことと思います。

活用について

- ・活用しながら守るという発想に切り替えないと持続可能とはならないのではないかと思います。
- ・活用に関しては、文化財単体での集客は難しいと思われるのでそれに纏わる何かとコラボしてほしいと思います。

博物館等について

- ・40万都市なのにきちんとした博物館もない。もっと積極的な対応が必要。
- ・せめて茅ヶ崎クラスの博物館があれば、保存・活用にいろいろな選択肢が生まれると思います。

教育・人材育成・継承について

- ・小中学校の授業から文化財とは？保存、活用を取り入れて若い人にもっと知ってもらいたい。
- ・歴史的な文化財を次の世代に伝えていくことで、地元に関心を持ち文化財や地元を大切にしようとする心を育むことは、私たちが行っていくべきことだと思います。

イベントの開催について

- ・他の課や施設、図書館など、人が多く集まる場所と連携して展示やイベントを行ったら良いと思います。保存は利用のための保存でなければ意味がないと思います。
- ・広い範囲では分からないが、個人管理の歴史的なものが多いと仮定すると、施設やイベントで披露できたら歴史の背景や藤沢市への愛着も変わると思う。

情報発信・PRについて

- ・魅力的な文化財や歴史等があるが、十分に活かせていないと感じる。PRに関しては、まずホームページを整えて欲しい。
- ・市文化財保存の現状について全く知らず関心もなかったが、このアンケート調査で初めて厳しい状況のようだと感じた。もっと現状を広報周知し、関心度合いを高めるところから始めることが必要だと思います。

体制について

- ・寺社や所有者の意向も踏まえつつ、関係部署との協働体制をさらに進めていただければと思います。

- ・文化財の保存と活用は、重要である反面、多大なコストが必要となる。補助制度等は、文化財の保護に一定の効果が望めるが、行政で補助していくには限界がある。また、収蔵施設、展示施設等の整備にも多大な費用が発生する。民間活用や、他の収益施設との連携などにより、低廉で効果的な施設整備手法を検討する必要があると思います。

アンケート調査の結果(文化財所有・管理者)

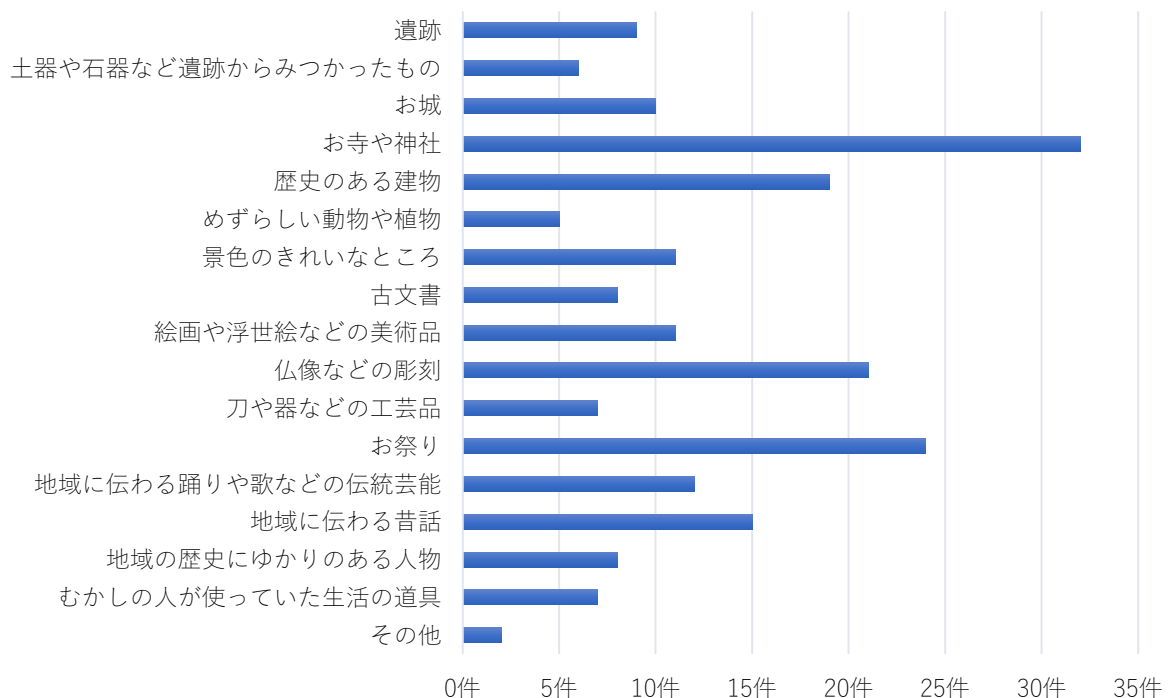
※注意

結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(1) 文化財に対する興味

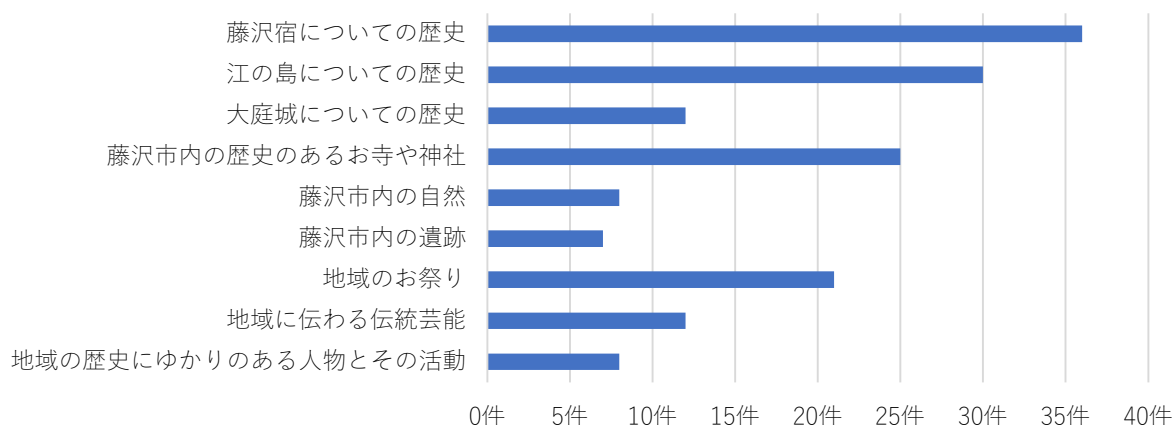
問1 どのような文化財に興味がありますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
遺跡	9	4%
土器や石器など遺跡からみつかったもの	6	3%
お城	10	5%
お寺や神社	32	15%
歴史のある建物	19	9%
めずらしい動物や植物	5	2%
景色のきれいなところ	11	5%
古文書	8	4%
絵画や浮世絵などの美術品	11	5%
仏像などの彫刻	21	10%
刀や器などの工芸品	7	3%
お祭り	24	12%
地域に伝わる踊りや歌などの伝統芸能	12	6%
地域に伝わる昔話	15	7%
地域の歴史にゆかりのある人物	8	4%
むかしの人が使っていた生活の道具	7	3%
その他	2	1%
総数	207	



問2 「藤沢らしい」と感じる歴史や文化財は何ですか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
藤沢宿についての歴史	36	23%
江の島についての歴史	30	19%
大庭城についての歴史	12	8%
藤沢市内の歴史のあるお寺や神社	25	16%
藤沢市内の自然	8	5%
藤沢市内の遺跡	7	4%
地域のお祭り	21	13%
地域に伝わる伝統芸能	12	8%
地域の歴史にゆかりのある人物とその活動	8	5%
総数	159	



問3 問2で回答したものについて、具体例もあればお答えください。(任意回答)

〈代表的な回答〉

- ・ 耕餘塾と吉田茂
- ・ 歴史のある宇都母知神社の祭礼。特に神輿、古い歴史物。
- ・ 鎌倉幕府、江戸幕府からも信仰の対象とされた江島神社

問1～問3の分析

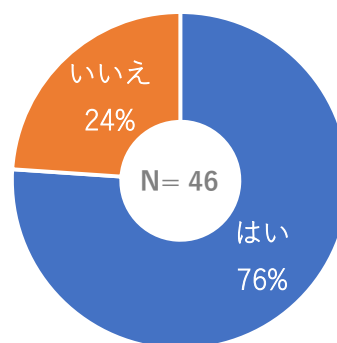
興味がある文化財は、「お寺や神社」が最も多く、次いで「お祭り」、「仏像などの彫刻」、「歴史のある建物」という結果となった。また、藤沢らしいと感じるものとしては、「藤沢宿についての歴史」、「江の島についての歴史」、「藤沢市内の歴史のあるお寺や神社」、「地域のお祭り」が多くを占めている。

「お寺や神社」、「歴史のある建物」や「江の島」、「藤沢宿」など一般回答と共通する部分も多いが、「お祭り」、「仏像などの彫刻」は一般回答より多く回答を集めている。これは、問12「所有・管理されている文化財の分類をお答えください。」の結果が「有形文化財」、「有形民俗文化財」、「無形民俗文化財」が上位であることから、回答者自身が所有・管理している文化財に関連する部分があると考えられる。

(2) 文化財の普及・啓発について

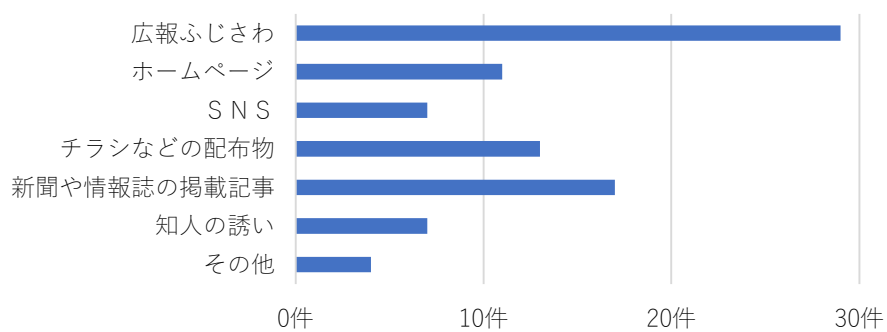
問4 藤沢市に「文化財等を展示する施設」が必要だと思いますか。

属性	人数	割合
はい	35	76%
いいえ	11	24%
総数	46	



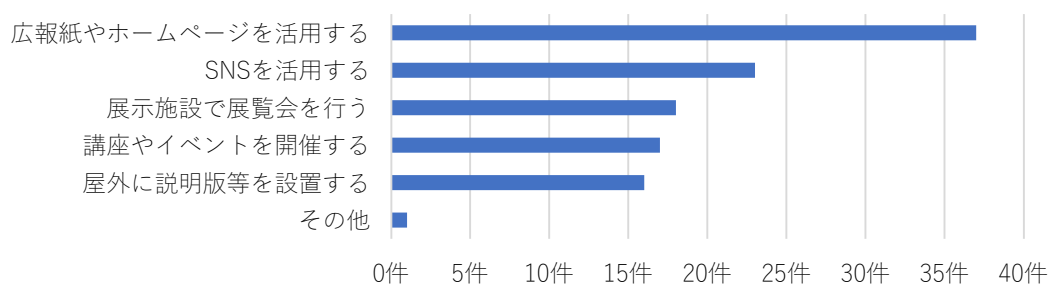
問5 文化財や歴史についての情報はどこで得ますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
広報ふじさわ	29	33%
ホームページ	11	13%
S N S	7	8%
チラシなどの配布物	13	15%
新聞や情報誌の掲載記事	17	19%
知人の誘い	7	8%
その他	4	5%
総数	88	



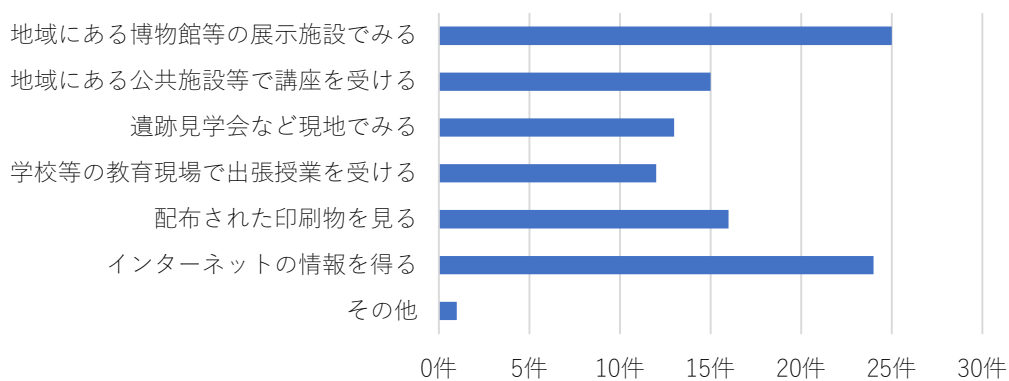
問6 文化財や歴史について、より多くの人にお知らせするために、どのような取り組みをしないと効果的だと思いますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
広報紙やホームページを活用する	37	33%
SNSを活用する	23	21%
展示施設で展覧会を行う	18	16%
講座やイベントを開催する	17	15%
屋外に説明版等を設置する	16	14%
その他	1	1%
総数	112	



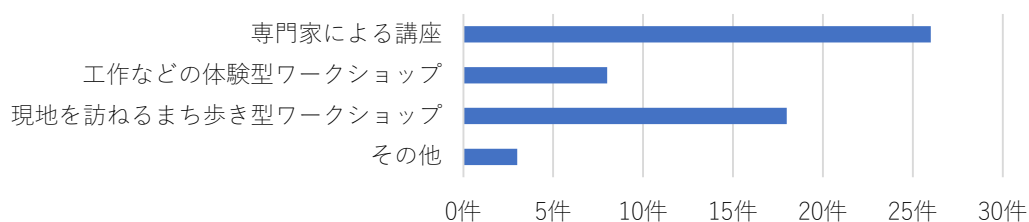
問7 文化財や歴史についてどのような方法で知りたいですか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
地域にある博物館等の展示施設でみる	25	24%
地域にある公共施設等で講座を受ける	15	14%
遺跡見学会など現地で見ると	13	12%
学校等の教育現場で出張授業を受ける	12	11%
配布された印刷物を見る	16	15%
インターネットの情報を得る	24	23%
その他	1	1%
総数	106	



問8 どのようなイベントに参加したいですか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
専門家による講座	26	47%
工作などの体験型ワークショップ	8	15%
現地を訪ねるまち歩き型ワークショップ	18	33%
その他	3	5%
総数	55	



問4～問8の分析

文化財の普及・啓発に係る質問においては、いずれの設問も上位の回答は一般回答と同様の結果となっており、問4、問7などの回答から展示施設の必要性が大きいことがわかる。

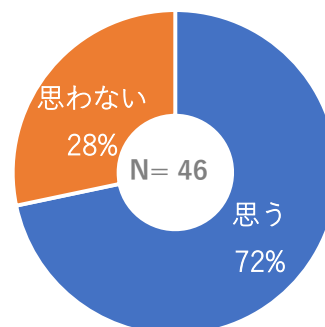
情報発信については、問5、問6ともに広報といった市の発信する情報が最も多く回答を得た。また、問5をみると文化財や歴史について情報を得る媒体は、若年層が含まれる一般回答と比べ年齢層の違いからか「SNS」の順位が低いものの、問6では情報発信に効果的な取り組みとして「SNSを活用する」が多く、また問7では「インターネットの情報を得る」が多いことからSNSを含むインターネットでの情報発信が求められていることがわかる。

問8の参加したいイベントに関しては、専門家による講座が最も多く、次いでまち歩き型ワークショップが多い結果となった。

(3) 藤沢市の文化財や歴史に対するイメージ

問9 藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思いますか

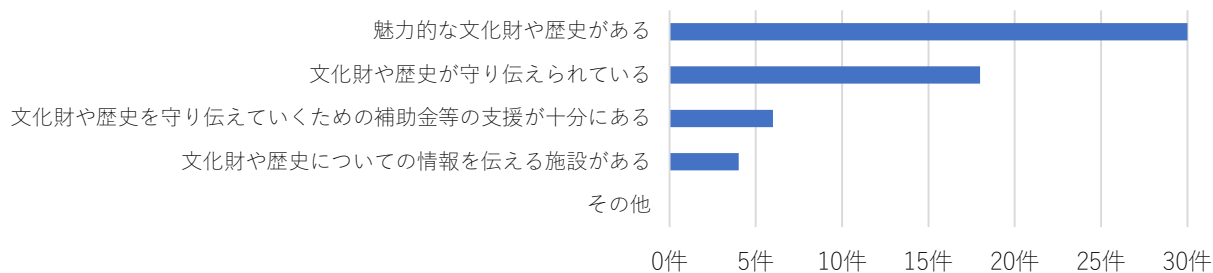
属性	人数	割合
そう思う	33	72%
そうは思わない	13	28%
総数	46	



問10 ※問9で「そう思うと答えた方」

藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思う理由をお答えください。(複数回答可)

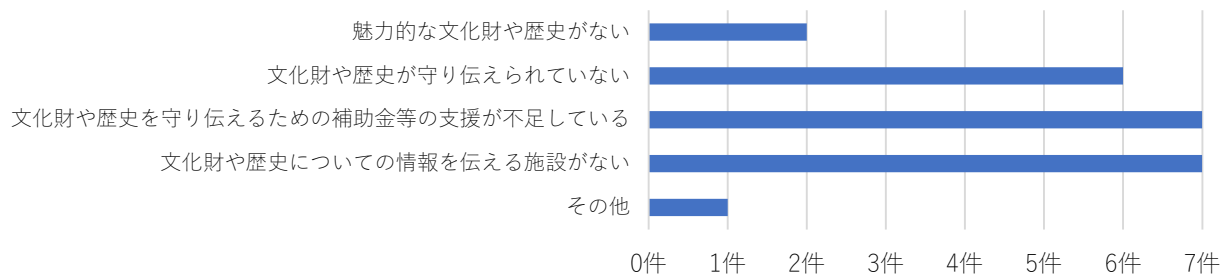
属性	回答数	割合
魅力的な文化財や歴史がある	30	52%
文化財や歴史が守り伝えられている	18	31%
文化財や歴史を守り伝えていくための補助金等の支援が十分にある	6	10%
文化財や歴史についての情報を伝える施設がある	4	7%
その他	0	0%
総数	58	



問 11 ※問 9 で「そうは思わないと答えた方」

藤沢市は文化財や歴史が豊かなまちだと思わない理由をお答えください。(複数回答可)

属性	回答数	割合
魅力的な文化財や歴史がない	2	9%
文化財や歴史が守り伝えられていない	6	26%
文化財や歴史を守り伝えるための補助金等の支援が不足している	7	30%
文化財や歴史についての情報を伝える施設がない	7	30%
その他	1	4%
総数	23	



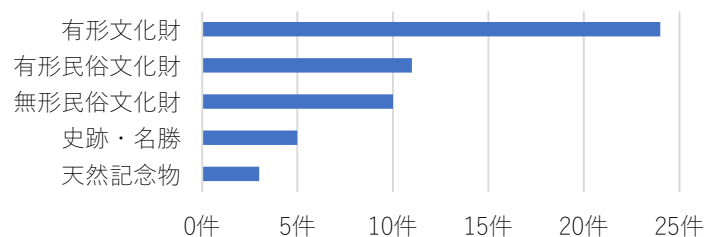
問 9 ～問 11 の分析

問 9 では、「そう思う」が 72%、「そうは思わない」が 28%と一般回答と同一の割合となった。一方で、問 10、問 11 ではそれぞれ一般回答より「文化財や歴史を守り伝えていくための補助金等の支援」に係る回答の順位が高くなっている。

(4) 文化財の所有・管理状況

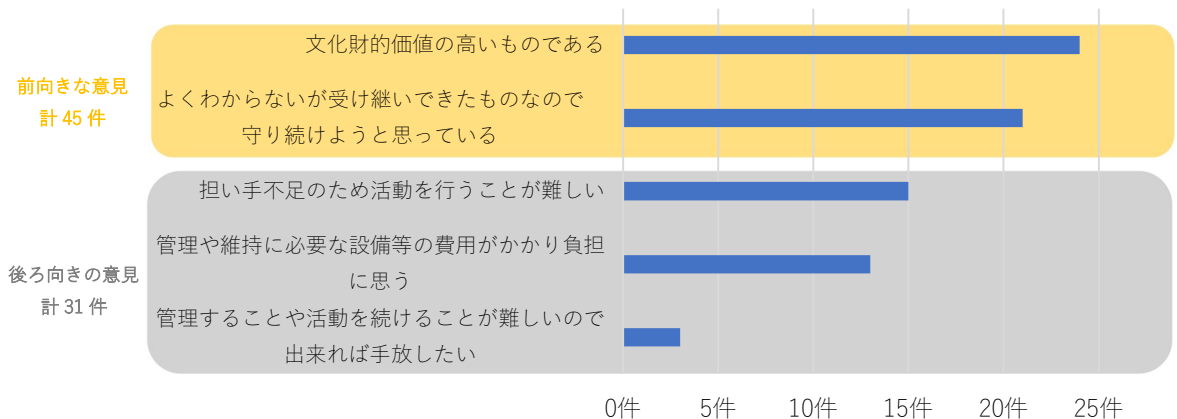
問 12 所有・管理されている文化財の分類をお答えください。(複数回答可)

属性	回答数	割合
有形文化財	24	45%
有形民俗文化財	11	21%
無形民俗文化財	10	19%
史跡・名勝	5	9%
天然記念物	3	6%
総数	53	



問 13 所有・管理されている文化財について、どのように感じていますか。(複数回答可)

属性	回答数	割合
文化財的価値の高いものである	24	32%
よくわからないが受け継いできたものなので守り続けようと思っている	21	28%
担い手不足のため活動を行うことが難しい	15	20%
管理や維持に必要な設備等の費用がかかり負担に思う	13	17%
管理することや活動を続けることが難しいので出来れば手放したい	3	4%
総数	76	



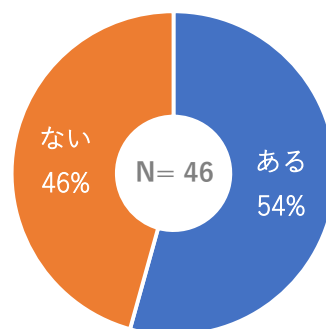
問 1 2 ～ 問 1 3 の分析

回答者の所有・管理されている文化財については、有形文化財が最も多く、次いで有形・無形の民俗文化財という結果となった。

所有・管理されている文化財についてのイメージは「文化財的価値の高いものである」、「よくわからないが受け継いできたものなので守り続けようと思っている」の前向きな2項目が上位となった。「担い手不足のため活動を行うことが難しい」、「管理や維持に必要な設備等の費用がかかり負担に思う」、「管理することや活動を続けることが難しいので出来れば手放したい」はそれぞれで見ると多くはないが、後ろ向き意見として合わせると前向き意見との大きな差はないことがわかる。

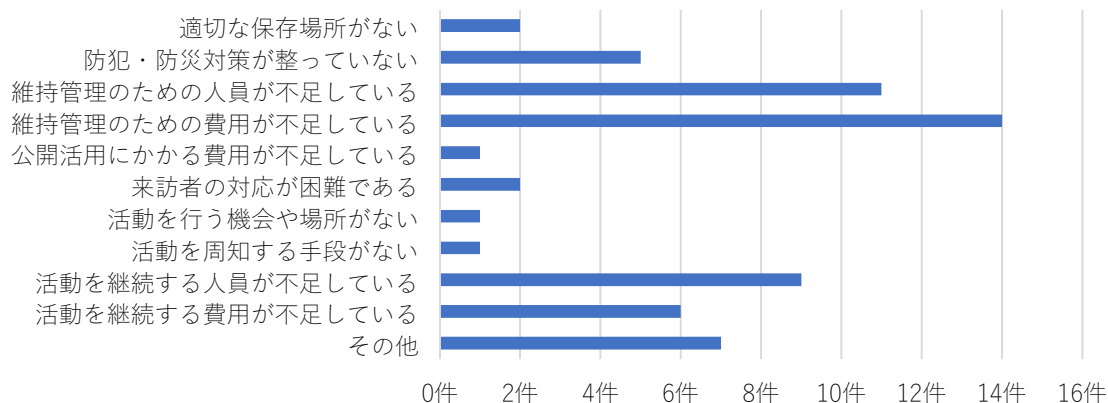
問 14 文化財の管理環境や活動状況についてお答えください。

属性	人数	割合
困っていることがある	25	54%
困っていることはない	21	46%
総数	46	



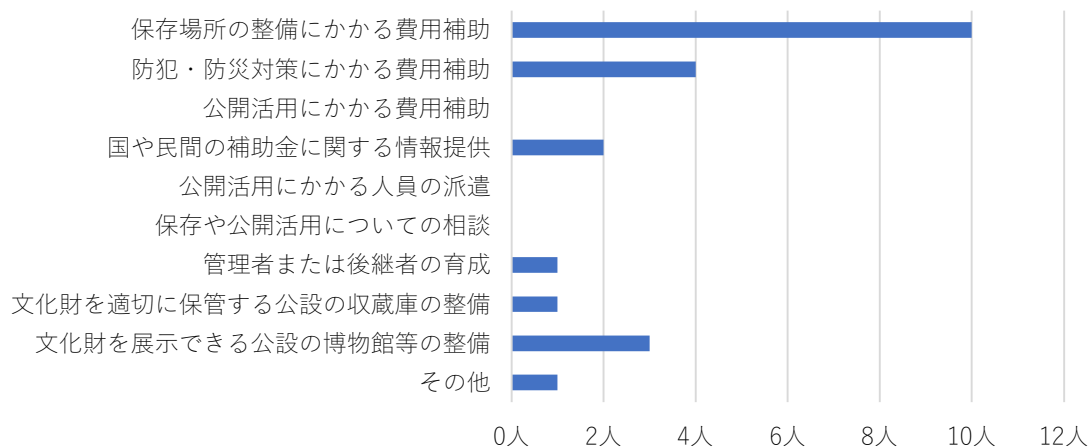
問 15 文化財を管理、または活動する中で困っていることをお答えください。(複数回答可)

属性	回答数	割合
適切な保存場所がない	2	3%
防犯・防災対策が整っていない	5	8%
維持管理のための人員が不足している	11	19%
維持管理のための費用が不足している	14	24%
公開活用にかかる費用が不足している	1	2%
来訪者の対応が困難である	2	3%
活動を行う機会や場所がない	1	2%
活動を周知する手段がない	1	2%
活動を継続する人員が不足している	9	15%
活動を継続する費用が不足している	6	10%
その他	7	12%
総数	59	



問 16 文化財を管理、または活動する中で藤沢市にさらに支援してもらいたいことをお答えください。一つ選んでお答えください。

属性	人数	割合
保存場所の整備にかかる費用補助	10	45%
防犯・防災対策にかかる費用補助	4	18%
公開活用にかかる費用補助	0	0%
国や民間の補助金に関する情報提供	2	9%
公開活用にかかる人員の派遣	0	0%
保存や公開活用についての相談	0	0%
管理者または後継者の育成	1	5%
文化財を適切に保管する公設の収蔵庫の整備	1	5%
文化財を展示できる公設の博物館等の整備	3	14%
その他	1	5%
総数	22	



問 1 4 ～問 1 6 の分析

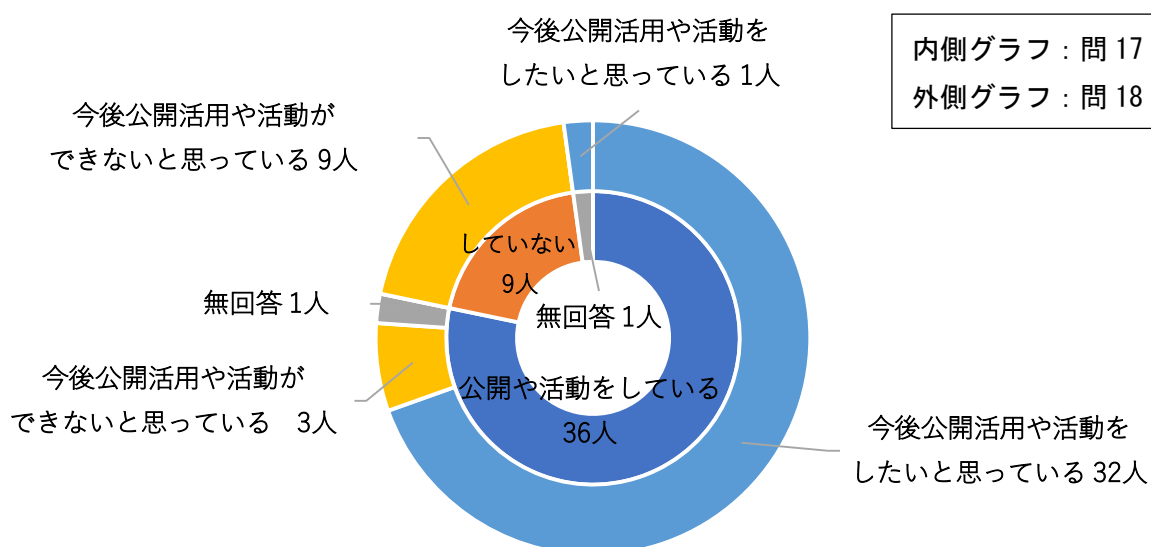
文化財の管理環境や活動状況における困りごとの有無については、回答は二分された。問 15、問 16 で具体的に見ると、どちらも費用面と人手（後継者）の確保に不安を抱いていることがうかがえる。また、問 15 におけるその他では、既に文化財の劣化が確認されており心配であるといった内容が多く挙げられた。

問 17 所有されている文化財を、現在、公開または活動をしていますか。

属性	人数	割合
公開や活動をしている	36	78%
公開や活動をしていない	9	20%
無回答	1	2%
総数	46	

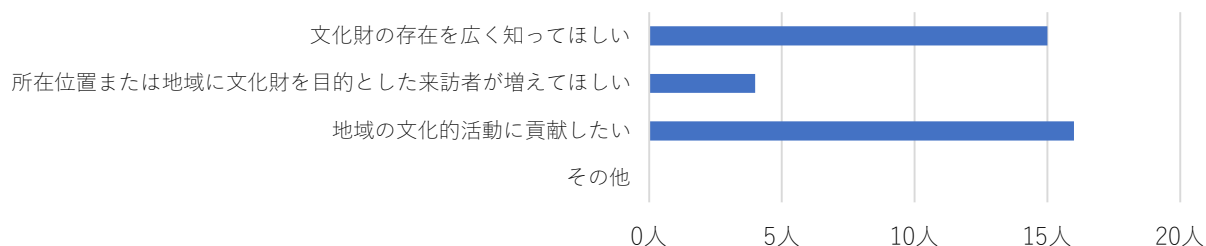
問 18 所有されている文化財の今後の活用や活動についてお答えください。

属性	人数	割合
公開活用や活動をしたいと思っている	33	72%
公開活用や活動ができないと思っている	12	26%
無回答	1	2%
総数	46	



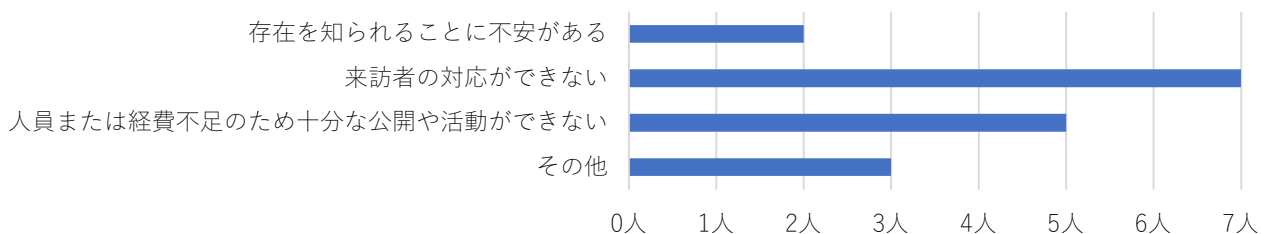
問 19 公開活用や活動をしたいと思う理由をお答えください。一つ選んでお答えください。

属性	人数	割合
文化財の存在を広く知ってほしい	15	43%
所在位置または地域に文化財を目的とした来訪者が増えてほしい	4	11%
地域の文化的活動に貢献したい	16	46%
その他	0	0%
総数	35	



問 20 公開活用や活動ができないと思う理由をお答えください。一つ選んでお答えください。

属性	人数	割合
存在を知られることに不安がある	2	12%
来訪者の対応ができない	7	41%
人員または経費不足のため十分な公開や活動ができない	5	29%
その他	3	18%
総数	17	



問 17～問 20 の分析

問 17、問 18 についてはクロス集計を行った。円グラフ内側が問 17、外側が問 18 の結果を示している。所有している文化財の現状については、「公開や活動をしている」が半数以上となったが、その一部は今後、「公開活用や活動ができないと思っている」と回答している。また、現状「公開や活動をしていない」は全てが今後も「公開活用や活動ができないと思っている」となっており、今後の公開活用や活動については全体的にやや縮小傾向に向かっていると考えられる。

(5) 文化財の保存と活用についての意見(自由記載)

※ 重複意見をまとめ一部抜粋

活動について

- ・徐々に補助金の環境整備ができていると感じています。今後はより幅広く文化財を守るための環境が整えられる事を希望します。
- ・住民の少ない地域での保存には限界があります。市での管理、PR が必要不可欠と感じます。

人材育成・継承について

- ・若い会員の募集をしても応募もなく、先行きや存続がきびしい状態で困っている。なにか良い案がないでしょうか？
- ・現在は、指定をされて、ご先祖様が管理していたので管理しているが、藤沢市を離れて長くなり、子どもたちも管理できないのではないかと考えている

情報発信・PRについて

- ・文化財の所有（存在）を地域住民に伝える機会を作り、文化財に対する関心を持ってほしい。
- ・店舗として活用しているが修理も必要。2024 年湘南邸園文化祭に初めて参加。より多くの人に文化財を見てもらえたと思う。

博物館等について

- ・公設博物館の設置を通じた活動の実現化を望みます。